

## 環境に関する取組み

### 地球温暖化防止に向けた取組み

当社グループでは、地球温暖化防止対策として省エネエネルギー及びCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。この度直近年度のCO<sub>2</sub>排出量に関する情報を追加致しました。

#### ■エネルギー利用の効率化および燃料転換によるCO<sub>2</sub>排出量削減

自社で消費するエネルギーに起因するCO<sub>2</sub>排出量（スコープ1，2）を把握し、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた省エネ、節電などの施策を実施しています。

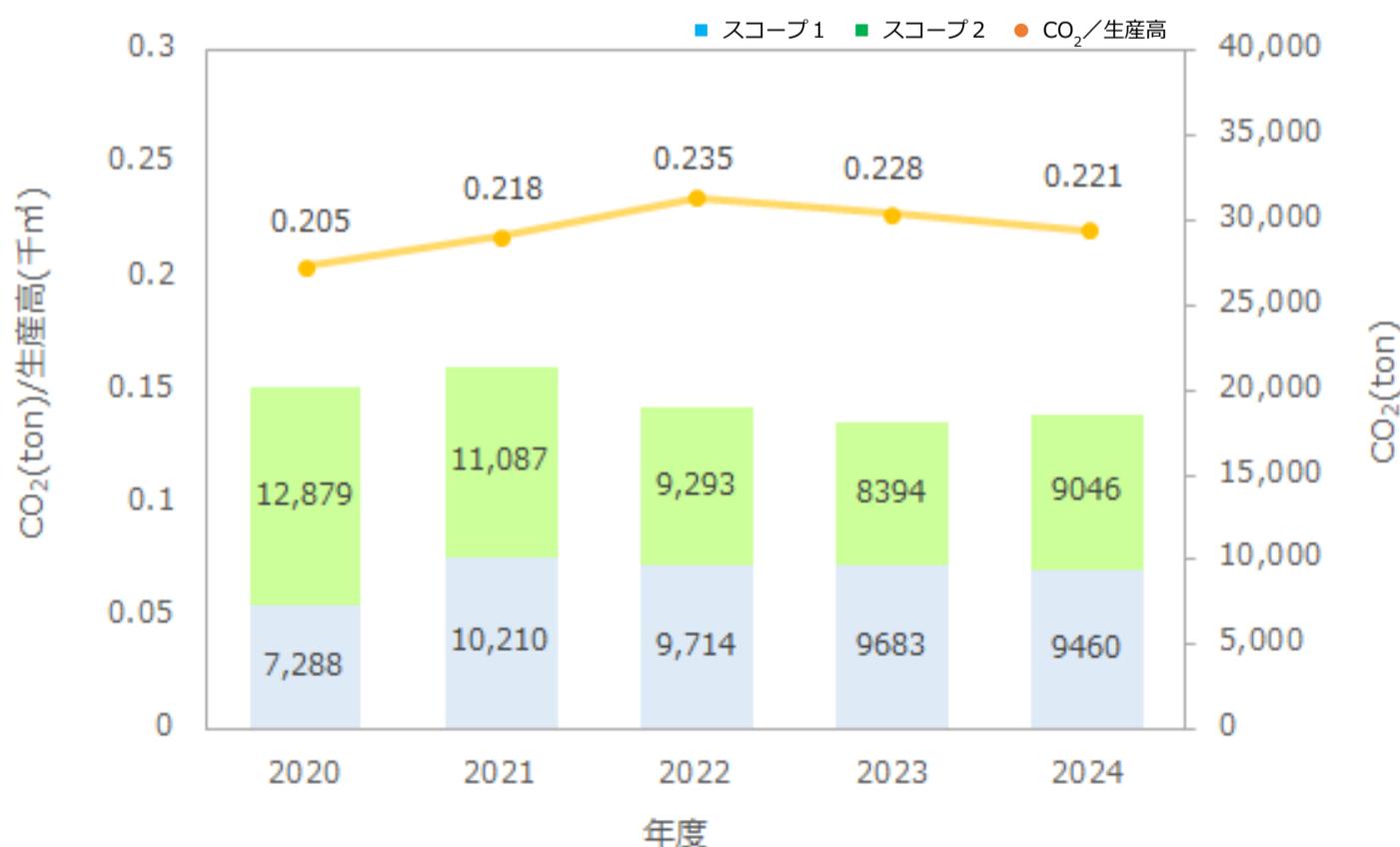
- ・天然ガスコジェネレーション設備<sup>※1</sup>の導入
- ・省エネ設備の導入
- ・照明のLED化
- ・環境に適した空調管理
- ・ボイラーフuelを重油からCO<sub>2</sub>排出量の少ないガスに転換
- ・生産の合理化

※1 天然ガスを燃料として、発電時に生じる廃熱を回収して工場の熱源、冷暖房などに利用。

#### ■CO<sub>2</sub>排出量（スコープ1,2）<sup>※2</sup>の推移

CO<sub>2</sub>排出量については、生産高を分母とする原単位当たりの排出量を指標とし、生産量に左右されることなく改善度合いが示される排出率の引き下げを追求しつつ、CO<sub>2</sub>の総排出量の削減にも努めて参ります。

2022年度は販売主要マーケットのひとつである中国での需要悪化、自動車や電子部品の生産落ち込みなどの影響で生産量が大幅に減少したことにより、前年度に比べてスコープ1および2の合計CO<sub>2</sub>総排出量は2,291ton減少したものの、生産量に連動しない固定分のCO<sub>2</sub>排出量の割合が高くなり、原単位は0.017ton/千m<sup>3</sup>の増加となりました。しかしながら、2023年度にはスコープ1,2のCO<sub>2</sub>排出量合計、原単位ともに減少し、2024年度ではCO<sub>2</sub>排出量合計は前年度より若干増加したものの、原単位は継続して減少しております。上記の様々なCO<sub>2</sub>排出量削減施策を継続的に推進しており、原単位削減はこれらの効果によるものと考えております。



※2 算定対象範囲：本社・国内事業所・PT. TERAOKA SEISAKUSHO INDONESIA

スコープ1：事業所内での燃料の燃焼等による直接排出。スコープ2：購買した電力等による間接排出。

PT. TERAOKA SEISAKUSHO INDONESIA の電力／CO<sub>2</sub>換算係数：0.88t-CO<sub>2</sub>/MWh (2019年マーケット基準)

## 資源の効率的な利用

### ■廃棄物の削減

5R (Reduce 減らす・Reuse 再利用する・Recycle リサイクルする・Refuse 不要なものは断る・Repair 修理して長く使用する)の推進により、廃棄物の削減に取り組んでいます。やむを得ず廃棄する場合は、法令に準拠し、廃棄物の種類に適した協力会社に処理を委託しています。

### ■サステナブル材料の使用

環境に配慮したサステナブルな再生材料と自然由来材料を使用した粘着テープの開発に取り組んでいます。また、紙管や梱包資材などの副資材にも積極的に再生材料、自然由来材料を使用するとともに、投入資源の削減にも努めています。



再生 PET 布テープ No.168



バイオマス布テープ No.169

## 環境汚染防止に向けた取組み

### ■主要製品の SDS、RoHS 指令等の情報開示

主要製品の安全データシートや RoHS 指令等に関する情報につきましては、当社 WEB サイト上で公開し、速やかな情報の提供に努めています。

### ■適切な化学物質管理

化学物質による環境汚染を防ぐため、自社で取り扱う化学物質に関しては、法令に従い適切な管理を行っています。また、PRTR ( Pollution Release and Transfer Register ) 制度に準拠し、第一種指定化学物質の排出量および移動量の届出を行っています。

### ■溶剤使用量の削減

紫外線硬化反応を利用した粘着テープの開発・製品化など、脱溶剤化技術の確立を進めるとともに生産性の向上による溶剤使用量の削減に取り組んでいます。